

「NHK海外たすけあい」の特徴

特徴1 今年で42回目を迎える 歴史と信頼のある募金キャンペーン

国際赤十字創設120周年、NHKテレビ放送開始30周年という記念の年であった1983年にはじまり、現在まで長きに渡って続いている歴史のある募金キャンペーンです。

特徴2 必要な人に、必要な支援を 対象を絞らず幅広く行き届く支援

女性や子どもはもちろん、より幅広い人びとに支援を届けるとともに、紛争や災害など、様々な危機を対象に支援を行っています。

様々な人びとを支援



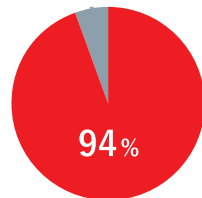
様々な危機に対して支援



特徴3 ご寄付が 実際の支援に充てられる割合は94%

ご寄付の94%を実際の海外支援活動に充てており、緊急救援から復興支援、開発協力に至るまでご寄付を有効活用しています。

実際の支援に
充てられる
寄付の割合

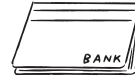


キャンペーン
周知・報告等の費用

一緒に、救える 日本赤十字社へのご寄付の方法

郵便局・各金融機関

全国の郵便局、その他取扱いのある金融機関で寄付できます。



インターネット

クレジットカードやAmazon Payで寄付できます。

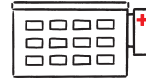
日赤 海外たすけあい

<https://www.jrc.or.jp/lp/save365/donation/>



窓口

日本赤十字社の各都道府県支部、赤十字病院、献血ルーム、NHK各放送局などから寄付できます。



その他

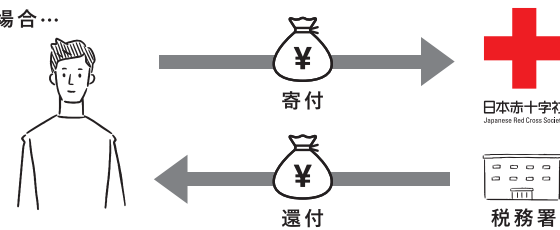
Yahoo!ネット募金やAmazonサイト、ローソンの店頭マルチメディア端末「Loppi」、ファミリーマートの「マルチコピー機 募金受付サービス」、SoftBank「つながる募金」から寄付できます。相続による寄付も受け付けています。



税制上の優遇措置

日本赤十字社へのご寄付は確定申告することで個人の所得税や、企業の法人税の優遇措置を受けられます。

個人の場合…



所得控除の計算式

A:年間所得総額 - B:(寄付金額※ - 2,000円) = C:所得税課税対象額

※ただし、寄付金額は年間所得総額の40%が上限となります。

たすけあうことが
希望への道をひらく



©Ukrainian Red Cross Society

赤十字は、
動いてる!



NHK 海外たすけあい

2024年 12月1日(日)～12月25日(水)

「NHK海外たすけあい」に関心をお寄せいただき、ありがとうございます。

この活動は、日本赤十字社とNHKが毎年12月に実施している募金キャンペーンです。

武力紛争をはじめ食料危機や自然災害など、世界では今この瞬間にも多くの人びとが様々な人道危機に直面しています。

私たちは、苦しんでいる人びとを救うため、それぞれの地域に根差した支援を続けていきます。



©IFRC

たすけあうことが 希望への道をひらく

今、人類の4分の1に当たる20億人が
紛争の影響を受けている場所に住んでいます。

攻撃の対象としてはならない民間人にも
大きな被害が及んでいます。

赤十字は、どんな時も人間のいのちと健康、
尊厳を守る活動を続けていきます。



赤十字の支援活動



〈CASE 1〉 紛争に伴う難民・避難民などへの対応

ウクライナやイスラエル・ガザなど、今この瞬間も紛争の影響を受ける人びとが後を絶ちません。赤十字は紛争の影響下にある人びとに必要な支援を届ける救援活動に加え、紛争の混乱によって離散した家族の再会支援や収容所への定期訪問等の保護活動も国際人道法に基づき継続しています。



〈CASE 2〉 頻発、激甚化する 災害への対応

世界各地で気候変動の影響と見られる災害が頻発しています。災害と貧困、食料危機などが重なり人道問題が複雑になっています。赤十字は、医療サービスの提供や給水・衛生支援、こころのケア、食料支援、現金・物資給付による総合的な生計支援など様々な支援を実施しています。



〈CASE 3〉 人びとのレジリエンスを 高めるために

赤十字では、平時から人びとが予測不能な災害などに備え、自ら対応し、立ち上がる力（レジリエンス）を高めるための防災教育や救急法の普及等を行っています。地域の生活習慣や文化をよく理解した上で、現地ボランティアとも協力して活動に取り組んでいます。

世界から届いた「ありがとう」の声



ウクライナ ヴィニツァ ヤナさん

2022年にウクライナ国内の比較的 안전한地域に避難してきました。今住んでいるアパートは窓から隙間風が入るため、冬はとても寒いです。日本の皆さんの支援で、赤十字からヒーターを頂きました。これで子どもたちも風邪を引きにくくなります。大変な時に私たちを助けてくれてありがとうございます。



アフガニスタン ヘラート アブドゥルさん

地震が起きた日の夜は2人の子を腕に抱いて過ごし、一睡もできませんでした。夜冷たい風が吹きつけとても寒かったのですが、アフガニスタン赤新月社の方にアドバイスをもらいながら仮住まいのスペースを整え、今は何とか過ごしています。国際赤十字からの資材が届いたら、家の再建に向けて頑張ります。



ルワンダ ギサガラ郡 エベリンさん

今まで毎日2時間かけて水汲みをしていましたが、赤十字が村に水汲み場を作ってくれたので、家の近くで安全な水が手に入るようになりました。また、赤十字のボランティアが我が家を訪ねて、トイレや家の中を清潔に保つよう教えてくれました。おかげで、病気にかかりにくくなりました。

あなたのご寄付でできること

2,000円 ▶ 安全な水 2ℓ×40本



不衛生な環境下で暮らす人びとに飲料水、生活や医療で使用する水を届けます。

5,000円 ▶ 給食 30人分



おなかを満たせない子どもたちへ支援を行います。

10,000円 ▶ 小児用医薬品 500人分



下痢や感染症でいのちの危機に瀕している子どもたちへ医薬品を届けます。